

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		第12回 キセラ川西エコまち協議会	
事務局 (担当課)		キセラ川西整備部 キセラ川西推進室 地区整備課	
開催日時		平成28年3月22日(火) 14時30分 ~ 16時00分	
開催場所		川西市役所 4階庁議室	
出席者	委員	加藤、山中、松村、牧田、中根、原、松塚、高見、井上(武)、西岡、蟹井、畑中、船曳、井上(博)、金淵、河合、仲下、藤井(敬称略)	
	その他		
	事務局	酒本、北野、半田、藤田、山角(地区整備課) 中川、樋口(調査機関)	
傍聴の可否		可	傍聴者数
		0人	
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		1 開会あいさつ 2 前回からの動き ・キセラ川西の事業区域及び用途地域の変更について ・工事の進捗状況 ・建築行為等の手続条例運用状況 ・公園・遊歩道について ・エリアマネジメントに関する検討状況議事 3 議事 交通部会の検討状況について モニタリングについて 運用基準の改訂について 建築賞・ラベリングについて ・建築賞の選考イメージについて ・表示ラベルのイメージについて 4 今後の予定	
会議結果		別紙審議経過のとおり	

審 議 経 過

<開会>

1. 開会あいさつ

(キセラ川西整備部 部長あいさつ)

- ・先ほど交通部会が開催されたが、引き続きご出席いただく方は、大変ご苦勞様です。また年度末で皆様お忙しいところ、御足勞いただきありがとうございます。
- ・現場の進捗状況ですが、おかげさまで今年度が終わると、工事・事業費ベースで約 70%、補償件数・契約ベースで約 70%が終わった。首尾よく行けば、来年度中には工事費ベースで 98%くらい補償工事も契約ベースでは全て完了している予定である。
- ・区画整理のハード工事については、あと一年がんばればやっと形になるという状況である。そうなってくるとその後いよいよこのエコまち協議会の出番となる。低炭素まちづくり計画をはじめ、エコまち運用基準と、これまでご議論いただいてきたが、平成 29 年 4 月から公園やせせらぎ遊歩道が供用開始となり、この協議会で進めてきたソフトのまちづくりがいよいよクローズアップされる。来年一年間は大きな転換をしていく一年になると思われる。
- ・後ほど資料でご説明させていただくが、交通部会の取り組みがエリアマネジメントの具体的な取組となっていく予定である。また低炭素建築物へのモニタリング、建築物の表彰関係など、今日しっかりとご議論いただき、着地して、来年度に向けて取組を加速していけたらと思う。
- ・区域全体の付加価値の向上を目的に取り組んできているが、エリアマネジメントをどうイメージしてどう提示してどう進めていくか、本腰を入れて具体的に取り組んでいく必要がある。
- ・市民ワークショップもおかげさまで色々な展開をしてきている。協議会の部会の役割も少し工夫をしていくときが来たのかと思っており、今日もご議論いただきたい。
- ・また協議会后に現場見学も予定している。マンションがいよいよ今月 25 日から入居開始であり、隣接するせせらぎ遊歩道の入口の一部も 25 日に使用開始される。入口の黒川地区から移植してきたクヌギの木もご覧いただければと思う。本協議会は今年度最後だが、来年度に向けて、ご協力いただきたい。

事務局

- ・本日は 14 時半から 16 時までの協議会后に、1 時間程度の現場見学会を予定しており、お時間の許す方はご参加いただきたい。
- ・今回より新規委員として、関西電力株式会社の原様が、同じく関西電力株式会社の清水様の後任としてご就任いただいた。

2. 前回からの動き

事務局

- ・資料説明
 - 資料 1-1 キセラ川西の事業区域及び用途地域の変更について
 - 資料 1-2 キセラ川西整備事業 工区割図
 - 資料 1-3 建築行為等の手続条例運用状況について
 - 資料 1-4 キセラ川西におけるエリアマネジメントと公園・遊歩道マネジメントについて

会長

- ・公園利活用検討部会を立ち上げるのは非常に良いことだが、地元・自治会等々の参画ということは、市が代表を務めるという理解でよいのか。このような地域活動の現場は、NPO系のところと、従来の自治会やコミュニティ系の活動団体とが最終的にもめることが多く、その辺りが緩やかに連携していくことで、地域社会の合意ができていくと思うのだが、新しい体制の中で、地元自治会はどういう参加の仕方になるのかが少し気になる。

事務局

- ・自治会や小学校区のコミュニティとの連携について、担当課である参画協働室と相談しながら検討していきたいと考えている。そういった方々とどういった協力の仕方になるかは、具体的にはこれから検討していく必要があるが、エリアマネジメントの考えの中に、自治会やコミュニティの方などの地元住民が参画しないという考え方はないと考えている。過去の市民ワークショップでグループができ、自主的な活動をしようとして取り組まれている活動については、コミュニティの会長に直接ご相談したり、コミュニティ運営委員会の席でご紹介などを行っているところであり、全くは別にはならないというかたちで進めたいと考えている。

会長

- ・メンバーについては将来的にもフレキシブルに考えておられるという理解でよいということか。特にエリマネの方は良いとして、公園利活用部会の方はまだ構成メンバーが決まっていないと思うので、今後よく検討いただきたい。

4. 議事

交通部会の検討状況について

○事務局

- ・資料説明
資料2 交通部会の検討状況について

会長

- ・これは川西市域だけのシミュレーションデータなのか。難しいかもしれないが、東西方向などの周辺地域も含めた分析もあると良いと思う。

委員

- ・現状の分析は川西市だけであるが、今後周辺地域も視野に入れていきたいと考えている。本日エコまち協議会の前に開催された交通部会でも、今後の施策の展開として特に池田市のレンタサイクルなど、横の動きも含めて連携を取っていくことを視野に入れてはどうかというご指摘をいただいた。

モニタリングについて

○事務局

- ・資料説明
資料3-1 エネルギーモニタリングについて

資料 3-2 エネルギーモニタリング施行実施要領（案）

会長

- ・資料 1-3 の事前協議状況で赤丸がついているところにモニタリングを依頼しているのか。

委員

- ・今の段階ではそこまで行えていない。今後パンフレットの配布など啓発を行っていく予定である。

会長

- ・資料 1-3 の赤丸の数に比べ、資料 3-1 のモニタリング資料の長期優良住宅の認定数の母数が合わないのはどういうことか。これからということか。

委員

- ・長期優良住宅の申告をしていただく段階は 2 度あり、事前協議の段階と完了実績の段階がある。事前協議の段階はまだそこまで進捗していない場合も多い。できれば早めに報告していただきたいが、早いか遅いかは別にして、実際に取り組んでいただけることが重要であると考えており、少しでも取り組みに繋がるものになればと思う。

会長

- ・モニタリングについて、申請者の方からのご意見はどうか。面倒という意見なのか、それとも良い取り組みだという評価なのか。

委員

- ・モニタリングはまだご意見を聞く段階まで進んでおらず、指定建築物の大きな建築物の方からデータをいただいている段階である。小規模建築物については、今後イベントなどで啓発活動を行っていく中で、面倒という意見なのか、良い評価を得られるのかは、実際に行ってみないとわからない。

会長

- ・先ほどの赤丸は小規模建築物か。

事務局

- ・そうである。また大規模建築に関しては、設計者を通じて事業者には報告をしていただきたいという説明はさせていただいている。具体的な報告の仕組みをつくったのは今年になるので、またこれから実際に説明して協力をお願いしていきたいと考えている。

会長

- ・この資料 3-2 エネルギーモニタリング施行実施要領（案）は、まだ案となっているが、本協議会でご承認いただき、来年から実施となるがよろしいか。

（異議はなく、同意いただく。）

会長

- ・ありがとうございました。

運用基準の改訂について

○事務局

- ・資料説明
資料4 キセラ川西運用基準

会長

- ・p.17 戸建住宅（イ）の暫定的な方法だと点数が半分になるという変更ということだが、承認してよろしいか。

（異議はなく、同意いただく。）

副会長

- ・p.13、p.16の印の箇所に、語句の間違いがあるので修正いただきたい。

事務局

- ・修正いたします。

建築賞・ラベリングについて

○事務局

- ・資料説明
資料5 キセラ川西エコまちラベリング・エコまち建築賞実施要領（案）
資料6 表示ラベルの仕様について

委員

- ・例えば資料5-2の26-11のマンションは、低炭素も景観も星の数が5つとなっており、非常に優れたマンションであるが、他の一般のマンションとはちがひ、エコまちでレイティングされているだけのことはあると一般の人が見ても感じられるようなマンションなのか。言いたいことは、レイティングされているが、資料5-2をみるとわりと星の数が多いので、すごく手続きを踏んで厳格に行っていることが、一般の方にわかりやすくなっているのか、少しその辺りを考えていただければと思う。

事務局

- ・客観的評価として星の数でラベリングし、どうしても主観になってくる部分を補うために、選考会を開いてエコまち建築賞として表彰していきたいと考えている。一般的な建物だと賞にはそぐわない場合もあるとは思うが、今回取り組まれているマンションはなかなか取れないCASBEEのSランクであり、全国でもまだ1件しかない、集約都市開発事業というものにもなっている。外見は主観的な感じ方によると思うが、建った時点の緑の量は多くあるようには見えると思う。

会長

- ・機械的にレイティングした結果がまずある。それとは別に、積極性、独自性、モデル性という 3 つの軸があり、もう一度ハードルが設けられている。心配なのは、まず機械的に採点できるように決めた表が甘いのではないかということだが、そういうことはないと考えてよろしいか。まだ選定はこれからであるのか。

事務局

- ・選定はこれからである。

委員

- ・27 年度の結果を見ると星の数が多いことが、これは趣旨を理解していただいて、事業者に積極的に取り組んでいただいているから、こういう結果になっていて、このキセラ川西では誘導が上手くできているのだと、胸を張って良いということか。

会長

- ・こういう表彰にも、星だけでなく、データを添えて表彰すると、社会的にもわかりやすいという気がするかどうか。

副会長

- ・制度上、手続き上、候補の建物に追加でデータを提出いただく可能性もあるのか。またデータは後からでも出してもらえるのか。

事務局

- ・エネルギーの提供も項目に入っており、協力的であれば点数が上がるという仕組みになっている。大きな建物についてはデータを提示していただいているので、公表することも可能である。またデータを後からも出していただくことも可能である。

副会長

- ・通知などで、賞の候補となった後にも出してもらえるのか。また初めに出していただいたものは評価するが、後からのものは、出してもらっても、データとしては評価しないのか。

事務局

- ・現案だと、後から出していただくものは、資料 5-2 の選考対象シート案であり、コメントとして、工夫した点や力を入れた点を記載いただく予定である。今のところ、この賞では、一旦建物ができた段階でラベリングや評価をしていくということで考えている。運用段階での削減量については、別途賞をつくってもよいのではないかと事務局で検討しているところである。

副会長

- ・選考対象シートのコメント欄は、設計者に渡して書いていただくので、その時点で候補になっていることがわかり、アピールしたい人はコメント欄に、初年度のデータを記載してもよい、記載

したい人が書くのを拒まないという理解でよいか。またデータについてだが、初年度は良いデータをとれない可能性が高いという問題もある。

委員

- ・全国でこのような取り組みがないので、沢山星で評価がつく都市というのは、全国から興味を持たれると思う。その際に、川西市のホームページから、運用基準や評価方法に簡単にアクセスできて、結構、客観的にやっているとか、結構厳しい評価をしているということが、一般の方にわかり、その結果このような建物になって、上手く誘導できている、ということになってほしい。
- ・誰でもアクセスしやすいことが非常に重要であり、こういうものは、怪しむ人も多くいると思うので、きちりやって、誘導できていると思ってもらえる様に、まずわかりやすくしていただきたい。せっかく取り組んでいるのだから、川西がよい評価を得られ、他都市にも良い影響を与える先進事例になるよう、うまく進めていただきたい。

会長

- ・胸を張って出せるよう、よくご検討いただきたいと思う。この事業は国交省の事業がベースなので、選ばれた対象は国交省のホームページの事業にぶら下がるようなかたちで、情報発信をしていけないか。

委員

- ・建築賞は大変結構なことだが、活動賞もつくってほしいと思う。先ほど公園の利活用部会が立ち上がるという話があったが、公園だけでなく、事業者が入った時に色々な低炭素の取組を促進するためにも、活動賞がほしい。どれほど定量的に評価するのかは、検討する必要があるが、市民の方が公園などの場を使って活動していくことの楽しさみたいなものを変化率にしていくような賞もつくっていただくと、エリアマネジメント部会の一員としても大変ありがたいと思う。

会長

- ・ご指摘の通りで、政策の評価するときにも成果指標だけでなく、活動指標をメインにおいて評価していく傾向が非常に多いので、おっしゃるような活動評価も是非していただきたいと思う。

事務局

- ・それはぜひ検討していきたいと事務局も考えているため、建築賞が来年度動き出したら、そちらの検討も進められたらと思う。

5. 今後の予定

事務局

- ・本日ご承認いただいた運用基準は、速やかに改定作業を進め、委員の皆様には改めて、改訂さっしをお送りさせていただく。また本日ご審議いただいたエコまち建築賞も同様に手続きを進め、検討メンバーの方には、実施フローに従い別途ご連絡させていただく。次回の協議会の開催は 8 月頃を予定しており、また日が近づいたらご連絡させていただく。